

ベナン月報(2014年8月)

主な出来事

【内政】

●7月31日, ヤイ大統領は, 8月1日の独立記念日における国民向けメッセージの中で, 2014年末までに必ず地方選挙を実施できるよう全力を尽くす旨述べた。

●7日, 保健省は, エボラ出血熱に感染疑いのあるナイジェリア人男性が, ポルト・ノボのウエム・プラトー県中央病院(CHDO)で見つかった旨, 及び北部タンギエタ(Tanguieta)で死亡した患者がエボラ出血熱の疑いがある旨発表した。後日, いずれもエボラ出血熱でないことが確認された旨発表。

●11日, 同日, ベナン高等裁判所は, タロン(M.Patrice TOLON)氏によるヤイ大統領毒殺未遂事件及びクーデタ未遂事件に関し, 予審免訴の決定を下した。

●26日, 国家独立選挙委員会(CENA)のメンバーが大統領と会談し, 2014年内に地方選挙を実施する見通しである旨述べた。

【外政】

●4日から7日, ヤイ大統領は, 米国で開催されたアフリカ・リーダーズ・サミットに出席した。

【経済】

●22日, 塚原駐ベナン大使及びバコ・アリファリ外相は, 2012年度ノン・プロジェクト無償資金協力の枠組みで調達された異形鉄筋及び波打垂鉛鉄板の引渡式をコトヌ自治港にて実施した。

※下記内容は, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙及び L'Autre Quotidien 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 7月31日, ヤイ大統領は, 8月1日の独立記念日における国民向けメッセージの中で, 2014年末までに必ず地方選挙を実施できるよう全力を尽くす旨述べた(4日, La Nouvelle Tribune紙)。
- ・ 4日, 司法官のストライキ禁止法案に関し, 国民議会において, コンセンサスが得られないことを理由に法案審議が無期限延期となった(7日, La Nation紙)。
- ・ 2日, 1972年に採択され, 現在に至るまで適用されていなかったバイク乗用車のヘルメット着用義務法に基づき, コトヌ市及びアボメイ・カラヴィ市において, 広範囲に警察による取り締まりが行われた。一部, 警察と取締りを受けたバイク乗用車の間で衝突が起こり, 数名の負傷者が出た。4日, ウス(M.Francois HOUESSO)内務・公安・宗務大臣は, 警察, 憲兵隊, 道路安全センター代表と会合を開き, 同取締りにおいては, 最大限, 市民との衝突を避けるべきである, 他方, 同取締りをベナン全土に拡大するべきとの意見を述べた(4日, 5日, La Nation紙)。
- ・ 4日, クラケにおいて, 店舗強盗が発生し, 210万FCFAが盗まれた(5日, Le Matinal紙)。
- ・ 7日, 保健省は, エボラ出血熱に感染疑いのあるナイジェリア人男性が, ポルト・ノボのウエ

メ・プラトー県中央病院(CHDO)で見つかった旨、及び北部タンギエタ(Tanguieta)で死亡した患者がエボラ出血熱の疑いがある旨発表した(7日, Le Matinal紙)。※その後、保健省はいずれのケースもエボラ出血熱でないことが検査の結果確認されたと発表。

- ・ 8日, 2014年度バカロレアの結果が発表され, 今年の合格率は昨年から大きく低下し, 24%であった旨明らかになった。右理由には, 昨年の教育セクターでのストライキが影響している可能性がある由(11日, Le Matinal紙)。
- ・ 11日, 南アフリカ在住の米国人に対する金の取引が詐欺に当たるとされ, 2011年4月以降, 約40ヶ月にわたり勾留されていた実業家で元野党議員であるデジレ・ヴォドヌ(M.Desire VODONOU)氏が, 3億FCFAの保釈金を支払い保釈された(12日, Le Matinal紙)。
- ・ 同日, ベナン高等裁判所は, タロン(M.Patrice TOLON)氏によるヤイ大統領毒殺未遂事件及びクーデタ未遂事件に関し, 予審免訴の決定を下した。本件については, 5月に最高裁判所より高等裁判所に差し戻された経緯があり, 今回の高裁の決定により, 本事件に関する司法審理プロセスは全て終了する(14日, L'Événement Précis紙)。
- ・ 12日, セメ・ポジにおいて象牙30キログラムの取引に関与した容疑で, ベナン人1名及びギニア人2名が逮捕された(18日, Le Matinal紙)。
- ・ 17日, 公立病院の事務職員及びコ・メディカルスタッフは, 未払い給与及び各手当の支払いを求めて, 19日より72時間のストライキを取行する旨発表した(18日, La Nouvelle Tribune紙)。
- ・ 14日, ベナン司法官全国同盟(UNAMAB)及びベナン全司法労働組合(SYNTRAJAB)は, 5月12日付で発せられたストライキの動議を19日から11月18日まで一時中断する旨の共同コミュニケを発表した(18日, L'Événement Précis紙)。
- ・ 18日, 農業・畜産・漁業省の地方契約職員らが, 給与及びガソリン代の未払い等に抗議して, 農業・畜産・漁業省前で座り込みを実施した。22日, ヤイ大統領は, 同契約職員らと会合を開き, 未払いの給与を支払う意向を示した。未払い給与の総額は約14億FCFAに上る(19日, La Nation紙, 25日, La Nation紙)。
- ・ 20日, 内閣改造が行われ, 11の閣僚ポストで閣僚が交代した(21日, La Nouvelle Tribune紙)。
- ・ 21日, ベナン商工会議所会頭を務めるサチビ(M.Jean-Baptiste SATCHIVI)氏が経営するCDPA社の会計担当の男性が, コトヌ市内の銀行で強盗に遭い, 殺害された。また, 同時に, 同強盗を逮捕しようとした警官が2名負傷した(22日, La Nouvelle Tribune紙)。
- ・ 同日, セメ・ポジで銀行強盗事件が発生し, 1,400万FCFAが盗まれた(22日, Le Matinal紙)。
- ・ 同日, ポルト・ノヴォで強盗事件が発生し, 警察との銃撃戦の末, 3人の強盗が射殺された(22日, Le Matinal紙)。
- ・ 21日, バコ・アリファリ(M.Naissirou BAKO-ARIFARI)外務・アフリカ統合・仏語圏・在外ベナン人大臣は, 本年9月1日から5日にコトヌで開催予定であった第64回WHOアフリカ地域閣僚

会合を11月に延期する旨発表した(22日, La Nation紙)。

- ・ 22日, コトヌで店舗強盗に入った2人の男が, 民衆制裁によって焼き殺された(25日, La Nouvelle Tribune紙)。
- ・ 22日, 北部タンギエタにおいて象牙56キログラムの取引に関与した容疑でベナン人3名が逮捕された(26日, L'Événement Précis紙)。
- ・ 26日, 国家独立選挙委員会(CENA)のメンバーが大統領と会談し, 2014年内に地方選挙を実施する見通しである旨述べた(27日, La Nation紙)。
- ・ 30日, パラクにおいて, 殺人及び強盗の容疑で逃走していた4名の男が, 警察との銃撃戦の末, 射殺された(9月1日, La Nation紙)。

【外政】

- ・ 4日から7日, ヤイ大統領は, 米国で開催されたアフリカ・リーダーズ・サミットに出席した(8日, L'Autre Quotidien紙)。

【経済】

- ・ 5日, EU及び仏開発庁(AFD)がベナンのビジネス環境改善及び生産分野強化のために70億FCFAを支援することになり, メナジェ(Mme Aline KUSTER-MENAGER)駐ベナン仏大使及びビアン(M.Jonas GBIAN)経済・財務大臣が署名式を実施した(6日, La Nation紙)。
- ・ 6日, 市民社会による「農業促進公社(SONAPARA)が2013-2014の綿花キャンペーンの綿花生産量を過剰に計上している」との主張に対し, SONAPARAは, 2013-2014の生産量は, 昨年より133,000トン増の307,355トンであった旨, 及び7月31日時点で, このうち296,281トンの綿繰りが終了していると発表し, 綿花生産高の過剰計上は存在しない旨主張した(7日, La Nation紙)。
- ・ 8日, 日, 福音派キリスト教会で構成される「Union des églises évangéliques du Bénin」が, 国家植林計画「dix millions d'âmes, dix million d'arbres」の一環で, ボルグ・アリポリ県において, 2,200本の植林を実施した(11日, La Nation紙)。
- ・ 12日, アトランティック・リトラル県の保健県局は, 民間医療セクター従事者に対し, エボラ出血熱が発生した際の対応策に関する研修を実施した(13日, La Nation紙)。
- ・ 14日, バコ・アリファリ外相及びカンデ・ガザル(Mme Dorothée Akoko KINDE GAZARD)保健大臣は, 当地外交・領事団及び国際機関関係者を召致の上, ベナンにおけるエボラ出血熱の現状及び政府による緊急対策の説明並びに緊急対策に必要とされる機材の協力要請(1,726,750,000FCFA)を行った(18日, L'Événement Précis紙)。
- ・ 19日, 米大使館がベナンのNGO12団体に対し, 5,300万FCFAを供与し, 署名式が実施された(20日, La Nation紙)。
- ・ 22日, 塚原駐ベナン大使及びバコ・アリファリ外相は, 2012年度ノン・プロジェクト無償資金協力の枠組みで調達された, 約11,650の異形鉄筋及び約2,000トンの波打亜鉛鉄板の引

渡式をコト又自治港にて実施した(27日, La Nation紙)。

(了)